

平成 30 年 1 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 30 年 1 月 30 日 (火) 午後 1 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 3 0 1

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	長 谷 川 智
学 校 教 育 課 長	堀 克 彦	子 育 て 支 援 課 長 補 佐	清 水 強
社 会 教 育 課 長	宮 路 一 規	統 括 指 導 主 事	杵 淵 貢

5 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 2 名

6 傍聴人

1 名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案

議案第 1 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第 2 号 燕市体育施設条例の一部を改正する条例の施行  
期日を定める規則の制定について

- 議案第 3 号 燕市体育施設条例施行規則の一部改正について  
議案第 4 号 新潟市立図書館と燕市立図書館の相互利用協定の締結について

その他

- (1) 平成 29 年度燕市幼稚園・こども園修了式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者（案）について  
(2) 平成 30 年第 1 回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）  
1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 山 崎 克 弥 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

○ 学校や園では新年から概ね順調にスタートした。今月初めに開催した小・中学校長会では、児童生徒の中には長期休業明けに欠席がちになる子どももいるので、全職員で学校生活の様子を見守り、小さな変化であっても児童生徒との面談や保護者などへの情報提供を適切に行うよう指導した。

2 インフルエンザの状況

- 園や学校では、小学校を中心にインフルエンザが大流行し、先週までに臨時休業がのべ3校、学年閉鎖(学級閉鎖を含む)を行った学校が9校、学級閉鎖はのべ13学級となった。
- 年明けから一気に広がった模様で、今後はさらに学年閉鎖や臨時休業に繋がる可能性が十分あるので、早めの対応が必要と考えている。

3 平成30年度の「あすチャレ! school」

- 昨年11月に、シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志氏から市内小・中学校3校において、体験型授業として車いすバスケットボールを体験する授業を行っていただいた。
- 市では、平成30年度も同様の授業を実施したいため、日本財団パラリンピックサポートセンターに申請したところ、市内5校での開催が採択された。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、現在モンゴル国のパラアーチェリー選手団の事前合宿が決まっていることもあり、子ども達には障害に対する偏見や差別をもたずに、障害のある方との共生する社会のあり方やチャレンジする気持ち、諦めない心などを学んでほしいと考えている。

4 1月行事予定より

(1) 燕市西蒲原郡小中学校教頭会(1/19)

- 教頭会から講話の依頼を受け、教育を取り巻く今日的課題や教頭としてのマネジメントなどについて話をさせていただくとともに、激励した。
  - 教頭は、日々校長とともに学校運営全般に尽力しており、こうした機会に学力向上や新学習指導要領の実施、教員の働き方改革など様々な課題に対する情報交換を行い、教頭職をしっかりと勤めて欲しいと考えている。
- (2) 食物アレルギー研修会(1/10・1/24)
- 1月10日(水)には、伊東こどもクリニックの伊東院長に講師をお願いし、「食物アレルギーの基本的理解について」と題して、公私立保育園などの保育士等や児童クラブの職員などを対象とした研修会を実施した。
  - また、1月24日(水)には、県立吉田病院の松野診療部長に講師をお願いし、「食物アレルギーの基本的理解及び学校現場での緊急時対応について」と題して、小・中学校の教職員を対象とした研修会を実施した。
  - 最近では、食物アレルギーをもつ園児や児童生徒が増加傾向にあり、こうしたアレルギーについても個に応じた対応が求められる場合が多い。そのため、食物アレルギー事故を防止するとともに、関係者がしっかりと研修し知識を身につけることで、安心・安全な学校生活につながると考えている。
- (3) 第2回吉田西太田保育園民営化移行保護者・地域説明会(1/20)
- 吉田西太田保育園を会場に、第4回と第5回の三者協議会で議論された方向性について保護者や地域の皆様に説明した。
  - 当日の説明内容は、クラス名に関すること、引き継ぎ保育に関すること、保護者会に関すること、諸費に関すること、園名に関することであり、それぞれ吉田福祉会の職員から説明の後、質問や要望を伺った。
- (4) 第10回B&G全国サミット(1/24)
- この会議は、全国390ヵ所の海洋センター(燕市B&G海洋センター)所在自治体から、約800人を超える市町村長や教育長などが参加しており、本市も市長とともに出席した。
  - 会議では、日本財団の笹川会長による「明治150年日本の未来は明るい」と題した基調講演の後、第14回B&G全国教育長会議の報告や「未来を形創る新しい取組」と題してのパネルディスカッションなどがあった。
  - 本市は、B&G財団より6年連続で「特A」の評価を受けている。この評価が10年連続すると表彰されるとともに、優遇処置としてセンターの修繕に係る支援を受けることができることになる。
- (5) 平成30年第1回市議会臨時会(1/25)
- 平成29年度燕市一般会計補正予算について、教育委員会では、次年度の小学校における特別支援学級数の増加等に対応するため、必要となる備品等を購入する補正を行い、議決をいただいた。
  - また、燕市東部学校給食センターの業務委託事業者については、今年4月

から(株)味彩燕に委託することを説明した。

## 5 中学校の部活動について

- 部活動のあり方を検討しているスポーツ庁では、中学校の部活動について学期中は週2日以上を休養日とし、1日の活動時間は平日2時間、休日は3時間程度までに抑え、合理的で効果的な練習を実践することなどを柱とするガイドラインの骨子案が示された。
- スポーツ庁は、部活動の教育的意義を認めつつ、数値を明確にした基準を示すことで過熱化に歯止めをかけ、教員の働き方改革につなげたい考えである。
- 本市では、今後の国や県のガイドラインの策定・公表を受け、検討委員会を立ち上げて本市のガイドラインを策定することになっている。

## 6 入試の時期

- 1月14日(日)に燕中等教育学校の合格発表があり、志願者は88人で80人が合格した。そのうち燕市内の児童の合格者は33人とのことである。
- 公立高校では、特色化選抜が2月13日(火)に、一般選抜学力検査は3月7日(水)、学校独自検査は翌日の8日(木)に、今年度から実施する追検査は、11日と12日に行われる。また、欠員補充のための2次募集は3月22日である。
- 生徒には、義務教育9年間の集大成として志望する学校に合格し、有意義な高校生活を送りながら、さらに飛躍することを願っている。

### (3) 寄附報告

2件の寄附報告について

〈No.1について宮路社会教育課長が説明〉

〈No.2について清水子育て支援課長補佐が説明〉

## 4. 専決処分の報告について

報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について

3件の後援について

〈No.1について堀学校教育課長が説明〉

〈No.2、3について宮路社会教育課長が説明〉

## 5. 議案

議案第1号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

〈堀学校教育課長が説明〉

議案第 2 号 燕市体育施設条例の一部を改正する条例の施行  
期日を定める規則の制定について

議案第 3 号 燕市体育施設条例施行規則の一部改正について

議案第 4 号 新潟市立図書館と燕市立図書館の相互利用協定  
の締結について

〈宮路社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 1～4 号は原案通り議決された。

## 6. その他

(1) 平成 29 年度燕市幼稚園・こども園修了式、保育園卒園式、小・中学校  
卒業式の日程及び出席者（案）について

〈堀学校教育課長が説明〉

(2) 平成 30 年第 1 回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について

〈堀学校教育課長が説明〉

### ○委員（中野 信男）

平成 29 年度燕市一般会計補正予算の中で、燕市東部学校給食センターの業務委託費が、平成 29 年度と平成 30 年度に差が出た理由は何なのか。一番の原因は何が考えられるか。

### ○学校教育課長（堀 克彦）

平成 29 年度の全面委託に関しては、副食調理委託料と他の委託料があるが、この中には減価償却費や光熱水費などが入っている。榊味彩燕では、平成 29 年度の委託費に固定資産税などを含めて 1 食あたりを計算しているため、どうしても割高になってしまっている。

### ○委員（中野 信男）

減価償却費は大きな割合を占めてくると思うが、他に大きな税金というところがあるのか。

○学校教育課長（堀 克彦）

減価償却費にあたる設備や土地の関係の固定資産税が大きい。

○委員（中野 信男）

土地は市の所有なのか。それとも燕市厚生福祉事業協同組合から借りているのか。

○学校教育課長（堀 克彦）

土地は燕市厚生福祉事業協同組合の所有となっている。組合も営利を出さなくてはならないため、その分も換算されている。施設でメーター分けをしていないため、学校給食で光熱水費がいくらかと言った金額がなかなか出せない状況であるが、学校給食の割合が大体利益の48%程度と聞いている。按分の仕方では売上等を見て1食あたりの単価契約をしているのが組合設立の時から契約の仕方となっている。

○委員（中野 信男）

会計学上の納得できる範囲内での落とし所ということなのか。多分、燕市厚生福祉事業協同組合は間違った会計処理はしていないと思うので、落とし所の良いところで落としていると思うが。

○学校教育課長（堀 克彦）

当時、燕市の方からお願いをして始まったことなのであまり値切ることもできないのが現状である。光熱水費は相当大きな割合を占めていると思う。

○教育次長（山田 公一）

旧燕市が学校給食を始める時に学校関係に施設が一切なかったため、(株)味彩燕の施設を利用させてもらい、そこですべての調理をしてもらうという形態をとっていた。そういった意味では施設の使用料込みの中での予算ということになる。今回はあくまでも建物自体は市の建物なので、建物の費用はすべて市が負担しているため、(株)味彩燕が負担するのは実質的には人件費と調理・配送に係る経費のみとなる。そういった差がこの金額の差となっている。もう一点は西部学校給食センターとの整合性も考えながら極端に価格の差が出ないようにしている。

○委員（中野 信男）

調理設備は燕市所有のものとなっているのか。

○教育次長（山田 公一）

東部学校給食センターは市の土地に施設を建設し、調理配送業務を(株)味彩燕に委託してマンパワーの部分だけを借りているイメージである。配送に係る経費については、車輛等の一部負担をしていただく予定である。基本的には人件費ベースが主となる。

○学校教育課長（堀 克彦）

減価償却費の部分を計算してみたが、500万円程かかっていた。その分の経費と配送費が非常に大きいと思う。

○委員（中野 信男）

話は違うが、昨年市長や教育長がイクボス宣言をしてから1年経過しているが、この市役所の中で男性職員の育児休業の申請はあったのか。

○教育次長（山田 公一）

市役所の中では1名の男性が育児休業を取得している。働き方改革の中で働きやすい職場作りということで、管理職が率先して動いているところである。そう言いながらも時間外勤務の部分がまだ減らないため、今後はそちらの方にも力を入れていきたい。働き方そのものを変える取り組みを進めているために、市を上げて動いている。

7 閉 会 午後2時31分

教 育 長 仲野 孝 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 山崎 克弥 \_\_\_\_\_

会議録調整者 竹田 亮子 \_\_\_\_\_